

2025

SUPER GT
RACE REPORT

Rd.6

9.20 [sat] - 21 [sun]

[place] スポーツランドSUGO (宮城県村田町)

[weather] [sat] 雨のち曇り / [sun] 曇り時々晴れ

[spectators] 26,900人 ([sat] 9,700人 / [sun] 17,200人)

SUGO
Sportsland

Rd.1	OKAYAMA >>	APR 12-13	Rd.5	SUZUKA >>>>	AUG 23-24
Rd.2	FUJI >>>>>>	MAY 03-04	Rd.6	SUGO >>>>>>	SEP 20-21
Rd.3	SEPANG >>>>	JUN 27-28	Rd.7	AUTOPOLIS >	OCT 18-19
Rd.4	FUJI >>>>>>	AUG 02-03	Rd.8	MOTEGI >>>>	NOV 01-02



TOM'S



2025 AUTOBACS SUPER GT Round6 SUGO GT300km RACE が、9月20日(土)、21日(日)にスポーツランド SUGO で行われた。#37 Deloitte TOM'S GR Supra (笹原右京/ジュリアーノ・アレジ) は、予選 10 番手から一時は最後尾近くまで順位を下げたが、レース終盤にかけてポジションを上げ、5 位入賞を果たした。



37

TGR TEAM Deloitte TOM'S



UKYO SASAHARA 笹原 右京

GIULIANO ALESSI ジュリアーノ・アレジ

Rd.6 Result

Qualifying	10 位	Driver Standings	4 位
Race	5 位	Team Standings	4 位

Qualifying 1	笹原 : P5 / 1'09.986
Qualifying 2	アレジ : P10 / 1'10.664
Race	笹原 : 1'13.269
ファステストラップタイム	アレジ : 1'13.550

QUALIFYING

天候：曇り／気温：20℃／路面温度：26℃



予選10番手に終わるも、 昨年優勝したSUGOで 今年も手応え掴む。

Round6の舞台となるスポーツランド SUGOは、路面の再舗装が行われたほか、縁石も数箇所が新しくなっており、それらへの対応も求められる一戦となった。20日(土)の公式練習は、直前まで降った雨の影響により、ウェットコンディションでセッションが始まった。このままの状態が続くかと思われたが、思いのほか天候の回復が早く、途中から各車がドライタイヤを装着して、予選に向けた準備を進めた。

今回、37号車は75kgのサクセスウェイトを背負っていたが、昨年優勝を果たした相性の良いコースということで、公式練習から手応えをつかんでいた。予選Q1は笹原が担当して5番手で通過し、上位を狙えそうな雰囲気があった。続くQ2担当のアレジも果敢にタイムアタックに挑んだが、わずかにミスがあった影響でタイムが伸びず10番手。ここから決勝レースで上位を目指す。

Race

天候：晴れ／気温：24℃／路面温度：32℃

さまざまな困難を乗り越え、 アレジが怒涛の追い上げ。 最終盤にライバルを抜いて5位入賞。



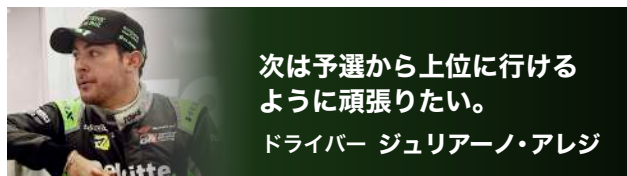
決勝レースは笹原がスタートを担当。予選で使用したタイヤを使用することになるが、当日のコンディションと、タイヤが噛み合わず、序盤は苦戦を強いられた。それでもライバルから引き離されないように粘り強く耐えて、29周目にアレジに交代。ここでタイヤの種類も変更した。タイヤウォームアップに時間を要し、一時は14番手まで後退したが、タイヤの発動後からペースを取り戻してポジションを挽回。しかし、48周目に複数台が絡むアクシデントが発生した影響で、1時間以上に渡りレースが中断された。最大延長時間の関係でレースは残り30分弱となり、当初予定されていた周回数より10周以上短縮されることとなった。アレジは少ないチャンスを逃さず、前の車両を次々と抜いていき、残り4週の時点で5番手に浮上。最後はトップ集団に迫る勢いをみせ、5位でフィニッシュした。これにより、シリーズランキング4番手を維持し、逆転チャンピオンを目指して終盤戦に向かう。



今回、踏みとどまったので、
ラスト2戦で逆転したい。

ドライバー 笹原 右京

サクセスウェイトなどを考慮すれば、5位という結果は素晴らしいと思います。ただ、今週のクルマの調子を考えると、全てがうまくいっていれば表彰台も狙えたくらいのパフォーマンスはあったと思います。僕のスティントではコンディションとタイヤが合っていないで苦しかったですが、それは周りも同じ状況だったので、何とか粘ってジュリアーノにつなげました。ジュリアーノのスティントでは違うタイヤを選ぶことができたので、チームワークでうまく切り抜けられました。



次は予選から上位に行ける
ように頑張りたい。

ドライバー ジュリアーノ・アレジ

最初のスティントはみんなタイヤが苦しそうだったけど、僕のスティントでは良いタイヤを選べた。ペースも良かったし、何よりクルマも素晴らしかったです。途中のアクシデントで赤旗になったのは残念だったけど、誰も怪我がなくて良かったです。最後までペースが良くてポジションを上げることができました。もう少し前のグリッドからスタートできれば良かったですが、予選で僕のミスがあったので、それが叶いませんでした。次は予選から上位に行けるように頑張ります。



チーム監督 ミハエル・クルム

予選で手応えはありましたが、ミスがあって10番手になりました。そこは残念でしたが、決勝でのリカバリーは素晴らしかったです。前半のタイヤが苦しくて、ジュリアーノのスティントでは別のタイヤを選びました。ただ、ウォームアップに時間がかかるのは今後の課題です。最初こそ順位を落としましたが、最後は5位まで追い上げてくれてすごく嬉しいです。良いレースでした。



チームオーナー 館 信秀

今週は、いろいろなことが起きた週末でしたが、その中で高いパフォーマンスをみせてくれました。前半の笹原が厳しい状況にありましたが、そこからうまく立て直して、最終盤で5位に上がっているのを知った時は正直驚きました。ジュリアーノが順位を上げてきたのは見事でした。とにかく2人とも良い走りをしてくれたと思いますし、次のオートポリスに向けて弾みがつきました。次戦もたくさんの応援をよろしくお願いいたします。

Deloitte.

BINGO

YET-FOR

ZENT

GR TOYOTA GAZOO Racing

TGR-D

BRIDGESTONE

OKANO Express

ほうらいせん
www.houraisen.co.jp

ISSE

BRIDE

かいよく

S&D TAMA GROUP

AUTHOR

PARTS.CO.JP

ENKEI

ThreeBond

HRX

Mizuno

MECHANIX WEAR